

紀美野町道の駅整備事業

事業概要（令和 7 年10月時点）

紀美野町

紀美野町の基礎情報

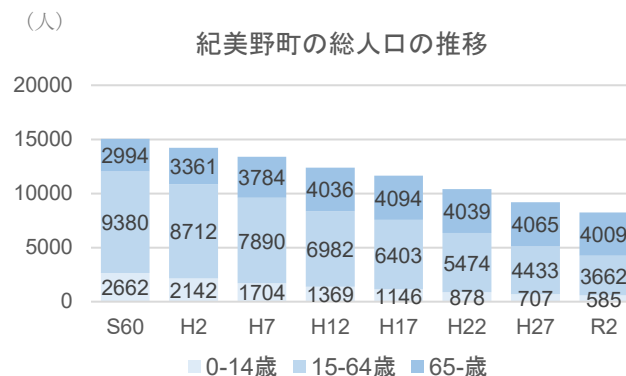
■紀美野町の立地



大阪方面からは阪和自動車道「海南東インターチェンジ」から高野西街道（国道370号）ルートで約20分。阪和自動車道「泉南インターチェンジ」から府県道泉佐野岩出線経由、県道岩出野上線ルートで約50分。

公共交通機関としてはJR海南駅より路線バス又はタクシーで約20分。

■紀美野町の暮らし



人口

紀美野町の総人口は、平成18年に合併して以降、減少が続いており、令和7年8月末時点で、7,577人にまで減少している。



紀美野町は、平成18年に旧野上町と旧美里町が合併して誕生しました。和歌山県の北部に位置し、中央を東から西に紀の川の支流、貴志川が流れ、その流域に広がる丘陵地と山地からなっている。



農業

紀美野町は、豊かな自然環境を活かし、柑橘類、柿、梅、山椒などの栽培を中心とした農業が盛んである。また、近年ではスマート農業の活用や6次産業化、インターネットを利用して農産物を販売する先進的な農家も生まれてきている。



林業

木の神々が棲まう土地として古くから「木の国」と呼ばれ、それが「紀伊国」の由来となったといわれるほど、木と縁の深い和歌山県。和歌山県で生産された品質の高い木材は「紀州材」として全国で利用されている。紀美野町の総面積約75%を森林が占めており、現在、自伐型林業や副業型林業を推進している。

■紀美野町の商・観光業

商業

ライフスタイルの多様化、情報社会の進展、流通システムの変革等、環境は大きく変化しており、町内の地元小売店の活用が少なくなっている。住民参画により地域の特色を生かした活性化を図り、農業や観光などの地域資源を活用した商品開発などに取り組む商業者を支援できる体制を整備することを政策に掲げている。



キミノーカ (年間4.5~5.0万人の集客を実現する人気のジェラート店)



観光



生石高原



みさと天文台



のかみふれあい公園



中田の棚田

■紀美野町の特徴ある取組

関係人口の創出と創業支援

紀美野町では、地域での創業支援や農山村で生きる価値を若者に伝えることを通じ、活力ある地域づくりや関係人口、将来の還流人口（Uターン）の創出につなげることを目的とした「きみの地域づくり学校」を開校しています。

農山村での暮らしや仕事について、専門的、学術的、実践的な視点からの学びと参加者同士の交流を通じて、関係人口の創出と創業支援を進めています。



きみの地域づくり学校

移住促進活動

紀美野町は豊かな自然と都市部へのアクセスに恵まれている為、田舎暮らしを希望する人々をターゲットに様々な取り組みを行っています。紀美野町では、空き家バンクの設置、定住促進事業、移住サポートのホームページを開設し、移住・定住の促進を図っている。



移住サポートのホームページ



移住サポートのパンフレット

紀美野町 ガイドマップ

第19回 和歌山県広報コンクール
映像部門 第1位!!
「紀美野町へしゅっぱつ!」



【電車・バスの場合】
 紀美野町 約60分
 紀美野町 約15分
 紀美野町 約25分
 ●JR 海南駅より大オレンジバス等で町内各所へ

【自動車の場合】
 紀美野町 約40分
 紀美野町 約15分
 紀美野町 約25分
 ●紀美野町から/紀美野町と海南市ICより国道370号を東進
 ●紀美野町と海南市ICから紀美野町と海南市ICを東進、国道24号を通過し、国道424号経由で当町へ
 ●河内長野-紀美野方面から/国道24号(京奈和自動車道)または、国道370号ルートで当町へ
 ●高野山方面から/国道480号、国道370号経由で当町へ



Kimino Guide Map

This map shows the natural spots, shrines, temples, and historic sites that are the pride of Kimino Town. Public facilities and schools are also listed for reference.

●=海南海草地方健康10ヶ所 高野長峰霊場

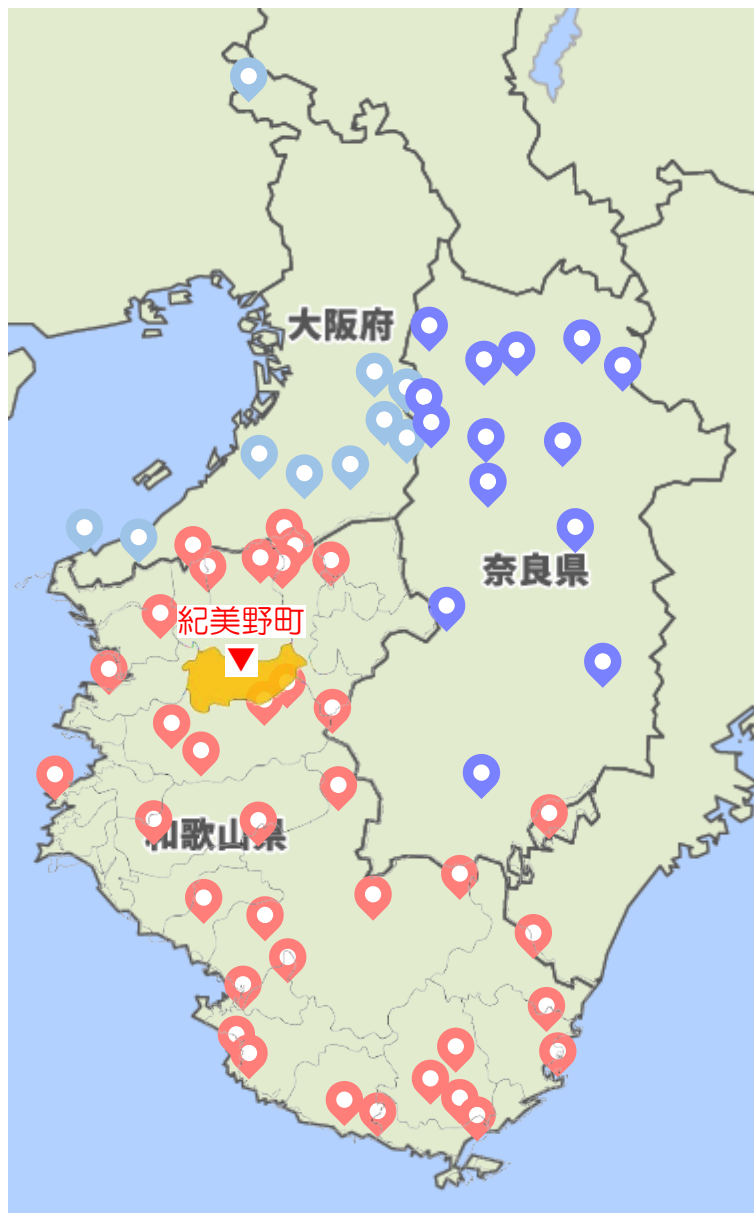


・交通

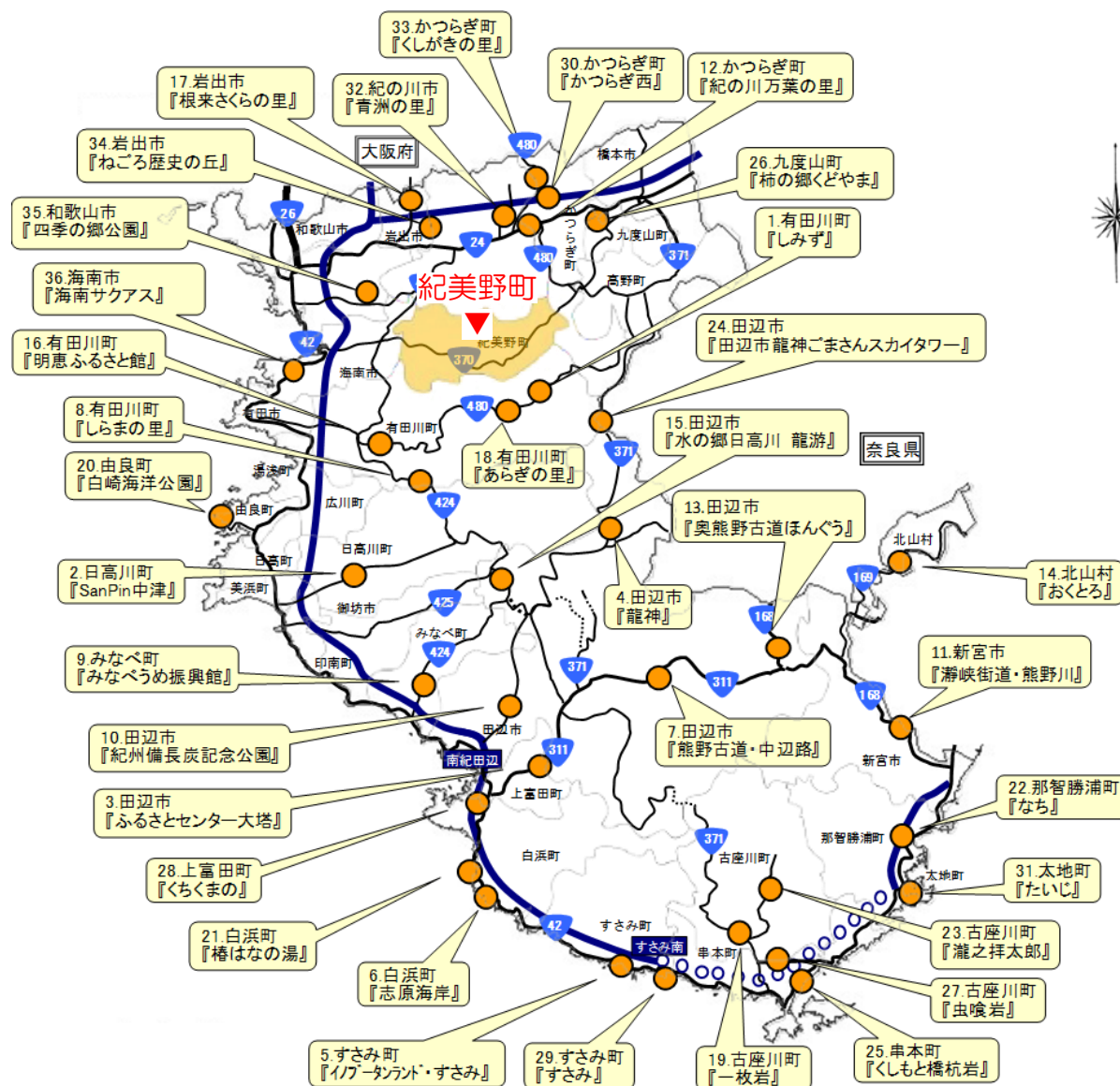
令和3年度交通センサスによると、西側から本町の中心にかけての国道370号線の12時間交通量は5,246台と2,705台、24時間交通量は6,610台と3,381台です。本町中心から東側にかけての国道370号線の12時間交通量は1,307台、24時間交通量は1,542台となっている。また、隣の海南市から紀の川市を結ぶ岩出野上線の12時間交通量は4,848台、24時間交通量は6,108台となっている。

紀美野町周辺の道の駅

■ 和歌山県と近隣の「道の駅」



■ 和歌山県の「道の駅」



[出典：和歌山県HP]

■長期総合計画の整理

長期総合計画の施策

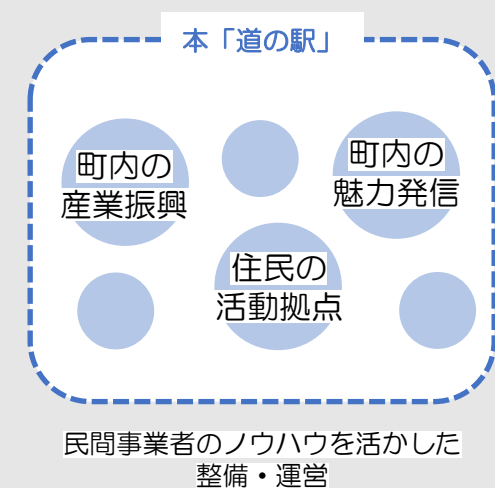
計画の体系

将来像	基本方針	分野	施策
空・山・川のふれあいのある 美しいふるさと 住民活力でつくるまちづくり	基本方針1 みんなでつくるまちづくり (住民協働と行政改革)	分野1 住民協働の拡大と深化を進めます	施策1 地域協働のまちづくりの体制整備 施策2 まちづくり協働活動の促進 施策3 広報・広聴と情報発信の充実
		分野2 活発な地域活動と地域交流を促進します	施策4 住民の相互交流の促進 施策5 町外との交流と町のPRの充実 施策6 定住促進事業の拡大 施策7 人権擁護・男女共同参画の推進
		分野3 行政改革を推進します	施策8 行政運営の効率化 施策9 行政事務の改善 施策10 財政の健全化 施策11 協働・分権型行政への転換
		分野4 子育てしやすいまちづくりを進めます	施策12 育児支援事業の充実 施策13 子育て支援環境の整備 施策14 出産・子育ての経済的支援
		分野5 学校教育を充実させ、次世代を育成します	施策15 学校教育環境の充実 施策16 教育内容の充実 施策17 多様なニーズに対応した教育の充実 施策18 地域と連携した教育の推進
		分野6 生涯学習と文化・スポーツ活動の環境を整えます	施策19 生涯学習の推進 施策20 文化活動の推進 施策21 スポーツ環境の整備 施策22 町の特色ある施設を活用した学習・交流事業の展開
	基本方針3 福祉の充実したまちづくり (健康・福祉)	分野7 住民の健康を守り、育みます	施策23 保健事業の推進 施策24 健康づくり活動の促進 施策25 地域医療体制の整備
		分野8 高齢者の福祉と介護の充実を進めます	施策26 介護保険サービスの充実 施策27 介護予防と在宅福祉対策の推進 施策28 高齢者福祉体制の整備 施策29 地域交流と社会参加の充実
		分野9 障害者の生活支援と社会参加を推進します	施策30 早期発見と早期支援の体制整備 施策31 障害福祉サービスの拡充 施策32 社会参加の促進
		分野10 助け合い、支え合う地域福祉を推進します	施策33 地域福祉推進体制の強化 施策34 特に支援を必要とする世帯の支援
	基本方針4 安心・安全で住み良いまちづくり (生活基盤・防災)	分野11 交通・情報のネットワークを整備します	施策35 道路網の整備と管理 施策36 公共交通の確保と利便性の向上 施策37 情報通信基盤の維持・活用
		分野12 自然と調和した生活環境を形成します	施策38 住宅・宅地の整備 施策39 持続可能な水道事業の運営 施策40 環境保全に向けた廃棄物・生活排水の処理 施策41 自然と共生するまちづくり
		分野13 安全な暮らしを確保します	施策42 災害に強いまちづくり 施策43 消防・救急・救助体制の充実 施策44 交通事故や犯罪の防止
	基本方針5 活力ある産業のまちづくり (産業振興・観光)	分野14 環境と共生し付加価値を生み出す農林業を育てます	施策45 中山間地域農産物の生産性向上 施策46 豊かな森林資源の利用促進 施策47 農林水産業基盤を生かした観光交流の促進
		分野15 まちに賑わいをもたらす商工業・観光を振興します	施策48 商工業の育成 施策49 観光交流事業の推進 施策50 雇用・就労の場の確保

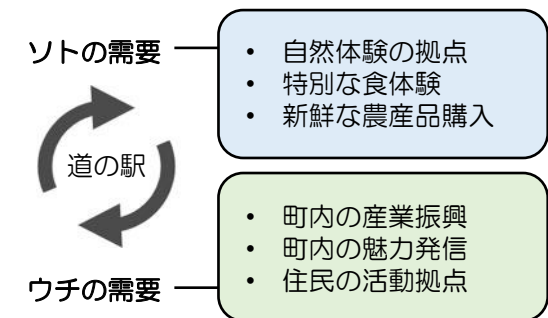
「道の駅」で実行可能な施策

- 地域住民の活動拠点
- 町の魅力アピール
- 民間事業者のノウハウ活用

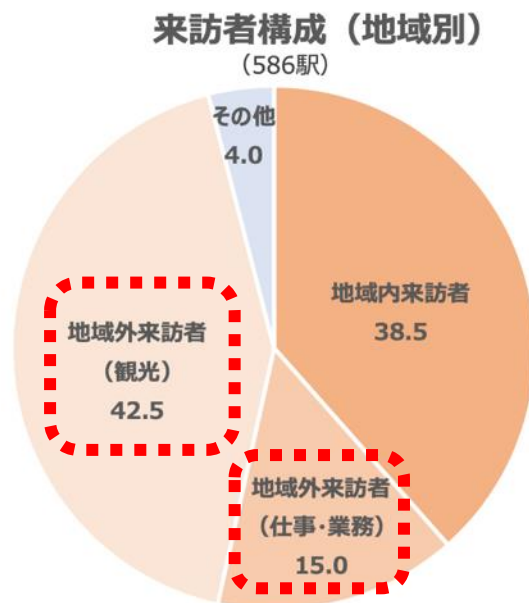
町の「道の駅」に対する期待



「道の駅」で考慮すべき需要

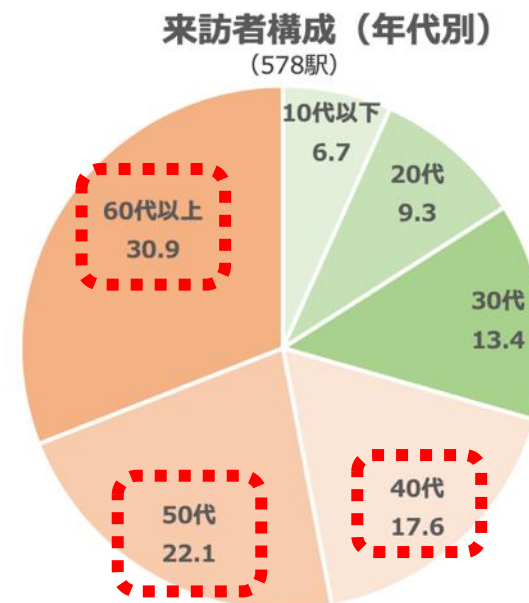
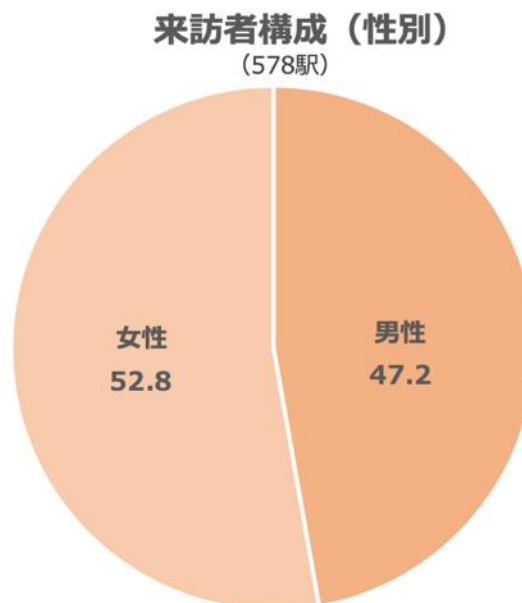


■道の駅の利用者属性



▲
地域外来訪者が半数以上

※本件の立地では、物流等の業務
利用が見込めない点に留意が必要



▲
40代以上が約70%

全国道の駅連絡会からの報告 [22年8月 (一社)全国道の駅連絡会]より引用



道の駅の事業性(収益性)を考える上で
メインターゲットとなるのは40代以上の地域外来訪者となる



方向性の決定においては
メインターゲットに対して訴求可能な、紀美野町の魅力を考える

■紀美野町が提供できるもの・道の駅で発信したい魅力

地域の魅力を発信する道の駅として

紀美野町が、町外の人に対して伝えたい町内の魅力

里山

川

星空

ゴルフ

キャンプ

棚田

人

山

農

食

釣り

自然
観察

テーマ

紀美野町の豊かな里山風景・魅力を未来へつなぐ

紀美野町の地域「資源」であり地域「課題」でもある里山。
紀美野町の里山の魅力を発信する道の駅とすることで、
里山の持続可能な保全と、地域の新しい産業創出を目指す。



地域「資源」

- 豊かな自然環境
- 自伐型林業の取組み
- 紀州材のブランド力
- 地元農産品
- 自然体験 etc.



地域「課題」

- 耕作放棄地や放置林の増加
- 農林業の担い手不足
- 農林業の高付加価値化
- 鳥獣被害の増加
- 地域経済の衰退 etc.

コンセプト

里山の食・体験等、紀美野町全体の魅力を発信する道の駅



- 「誰のために」 …… 紀美野町に遊びに来た来街者・地域住民
- 「何を提供して」 …… 里山を活用した食・体験
- 「どう稼ぎ」 …… 農林製品の6次産業化、間伐材の活用
- 「何が得られるか」 …… 里山の持続可能な保全、地域の新しい産業創出、紀美野町に愛着を持つ関係人口の増加・交流

本テーマにおける利点と懸念点

里山をテーマに据えることの利点は、住民参加型の施設としやすく、紀美野町のありのままの魅力を伝えることで、関係人口としてのファン層を獲得し、将来的な移住促進への貢献も期待できることにある。

一方で、近隣の道の駅との差別化が図りづらく、収益性が低いこと、ユーザーの満足度を高めるためには、様々なコンテンツが必要となり、施設・運営の規模が大きくなることが懸念される。

事業規模を抑えながらも、近隣の道の駅と差別化し集客を図るには、わざわざ訪れたくなる体験コンテンツの提供や、思わず買って帰りたくなる商品開発が必要。

■導入機能

道の駅基本構想の内容を踏まえ、地域住民と道路利用者（地域外来訪者）の双方の利用が促進されるよう、必要な導入機能を以下に整理します。

導入機能	整備内容	主な利用シチュエーション	
		地域住民	地域外来訪者
休憩機能	●24時間利用可能な駐車場とトイレ		●快適に利用できる駐車場とトイレ
	●ベンチ等の休憩スペース	●日常的に集い、くつろげる休憩スペース	●運転の疲れを癒す休憩スペース
情報発信機能	●交通情報コーナー		●道路情報を提供する交通情報コーナー
	●観光案内コーナー	●町民が町の魅力を再発見する観光案内コーナー	●町内各所へ観光客を誘致する観光案内コーナー
	●地域FMの放送ブース	●町民向け情報を発信する地域FM	●観光情報を発信する地域FM
地域連携機能	●地域の農産品等を活用した物販と飲食	●農業等の町内事業の販路を拡大する物販・飲食	●地域の魅力を楽しめる物販と飲食
	●イベントスペースにもなる広場	●町民向けイベントを開催する広場	●観光客向けイベントを開催する広場
	●地域の自然環境を活用したアクティビティ事業	●豊かな自然環境を次世代に継承するための学習と啓発	●地域の豊かな自然環境を味わうアクティビティ体験

■導入コンテンツのアイデアと参考事例



精油

- ・紀美野町の地場産材を使用した精油の販売
- ・オリジナルの精油づくり体験
- ・ハンドクリーム、キャンドル、入浴剤の販売



森と生きる体験

- ・大自然を満喫できる宿泊棟
- ・薪割りもできる焚き火BAR、焚き火ラウンジ
- ・地元産の食材をふんだんに使った料理
- ・ネイチャーツアー



モノ・コト・ヒトが結びつく町の情報発信施設。人気である精油づくり体験では、実際に森に入り下川町の木である「トドマツ」を採取した後、屋内で蒸留器を使って精油を抽出する。モノ・コト・ヒトが結びつく町の情報発信施設。参加者は〈体験の森〉と呼ばれる場所で森歩きからスタートする。

[下川町まちおこしセンターコモレビ / 北海道川上郡]

日本初のグランピングリゾート。大自然の中で、焚火を見つめたり、小鳥のさえずりを聞いたり、森の気配を感じたり、自然と共生しながら過ごすほかにはない贅沢な体験を提供する。地元の食材をふんだんに使ったコース料理の他、デジタル機器から離れ、富士山信仰にまつわる史跡を巡り、心身ともにリフレッシュするプログラムや森の奥で木漏れ日を感じながら、木立に浮かぶ柔らかな布に包まれながら行う心地よいストレッチ教室等何度も来くなるようなイベントが開催されている。

[星のや富士 / 山梨県南都留郡]

■導入コンテンツのアイデアと参考事例



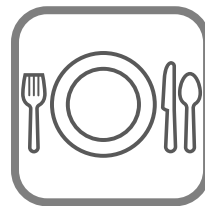
宿泊

- ・多世代に対応したコンテンツ
- ・運営負荷を最小限とする営業形態
- ・多人数で利用できる共用部
- ・地場産材を使用した共有部



休憩所の機能だけではなく目的地化した宿泊施設とすることで、紀美野の魅力発信に繋がると考えられる。宿泊施設においてはグランピングやコテージ等のセルフサービスの客室や大人数対応の共用部を用いることで、運営負荷をできるだけ軽減する工夫も求められる。

[Forest Living/千葉県いすみ市]



飲食

- ・地元産の食材をふんだんに使った食事の提供
- ・薪を使ったメニュー
- ・地域住民の居場所
- ・何度も来たくなるような季節のメニュー



宿泊から日帰り利用も含めて施設利用者の食事や休憩の場となる飲食機能の導入が想定される。飲食施設は外来利用だけではなく、町民が気軽に立ち寄れる地域の居場所とすることで、町民の日常の交流の場として、まちの賑わいの中心となることが期待される。提供する食事は地域の食材を使用し、健康や栄養バランスに配慮した、和歌山県出身のシェフが監修したメニューとすることも考えられる。町内産の農作物や加工品を活用することで、本施設と紀美野町全体の魅力を発信する「森の恵みの食堂」となることが求められる。

[Eatree Plates / 東京都奥多摩町]

■導入コンテンツのアイデアと参考事例



グランピング

- ・大自然を満喫できる宿泊棟
- ・薪割りもできる焚き火BAR、焚き火ラウンジ
- ・地元産の食材をふんだんに使った料理
- ・ネイチャーツアー



[星のや富士 / 山梨県南都留郡]



木質サウナ

- ・木質サウナと木の精油で木の香りが楽しめる
- ・サウナ好きの若年層の取り込み
- ・大自然を満喫できる
- ・ネイチャーツアー後の疲労回復



[事例イメージ]

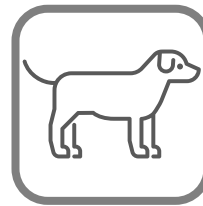


森林養生

- ・心身の健幸を取り戻す
- ・森林療法
- ・ウェルネス



[事例イメージ]



ライフスタイル

- ・間伐材ライフスタイル雑貨の販売
- ・間伐材プロダクト制作のワークショップ
- ・間伐材子供の玩具販売
- ・間伐材ペットグッズ販売



[事例イメージ]

■導入コンテンツのアイデアと参考事例



小規模木質バイオマス発電・薪ボイラー

- ・間伐材の活用
- ・道の駅施設へのエネルギー供給
- ・エネルギーを足湯等の体験に活用
- ・災害時の避難所として開放



[道の駅たかのす / 秋田県北秋田市]

小規模木質バイオマス発電

- ・燃料集荷規模が小さく安定供給が可能
- ・発生する熱も周辺利用可能
- ・総合エネルギー効率、CO2削減効果が高い
- ・オペレーションが容易(一部無人運転可能)



[道の駅たるみず湯つ足り館 / 鹿児島県垂水市]



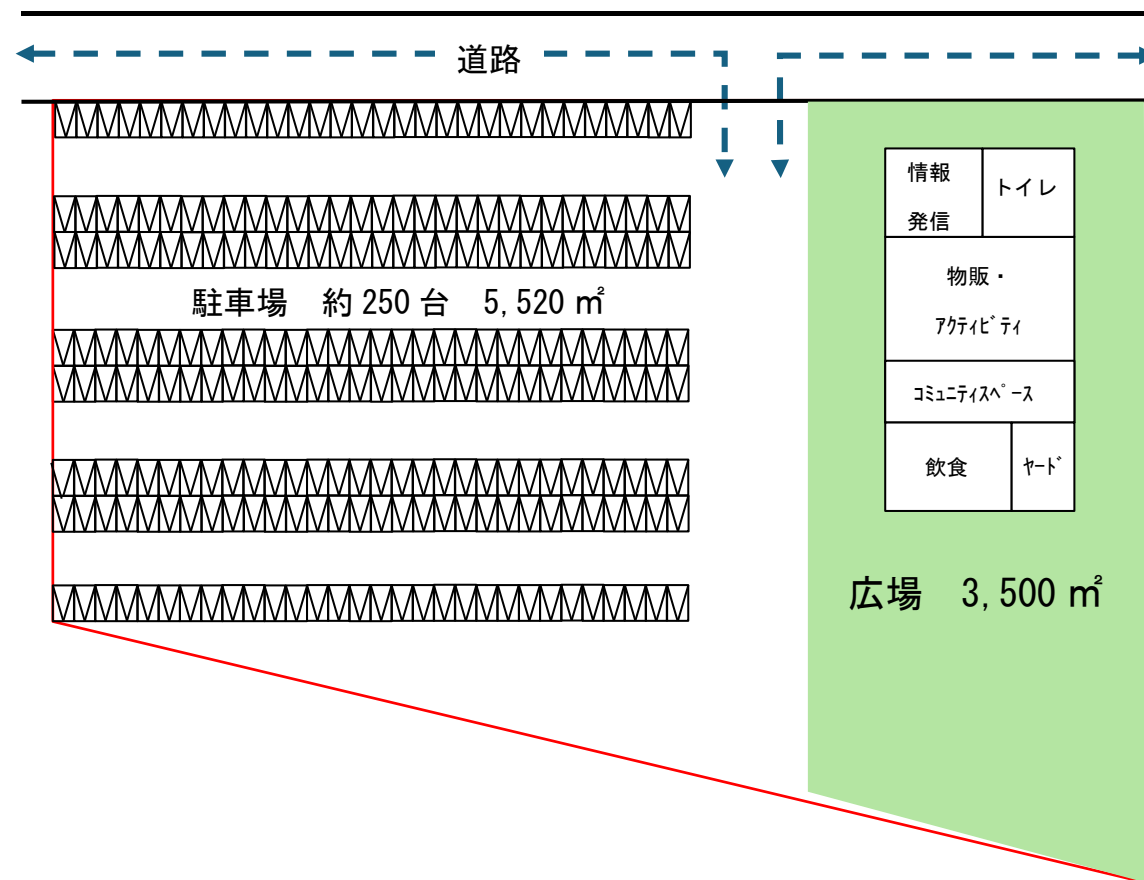
[道の駅三芳村「鄙(ひな)の里」 / 千葉県南房総市]



施設規模案

現時点での導入機能を整理したイメージ案になります。確定したものではありませんので、あくまでも参考としてご理解ください。

種別		面積	備考
敷地全体		12,000m ²	
	駐車場	5,520m ²	約250台
	広場	3,500m ²	
	建物	830m ²	約250坪
	飲食	130m ²	
	物販・アクティビティ	320m ²	
	情報発信	100m ²	
	コミュニティスペース	100m ²	
	トイレ	100m ²	
	ヤード	80m ²	









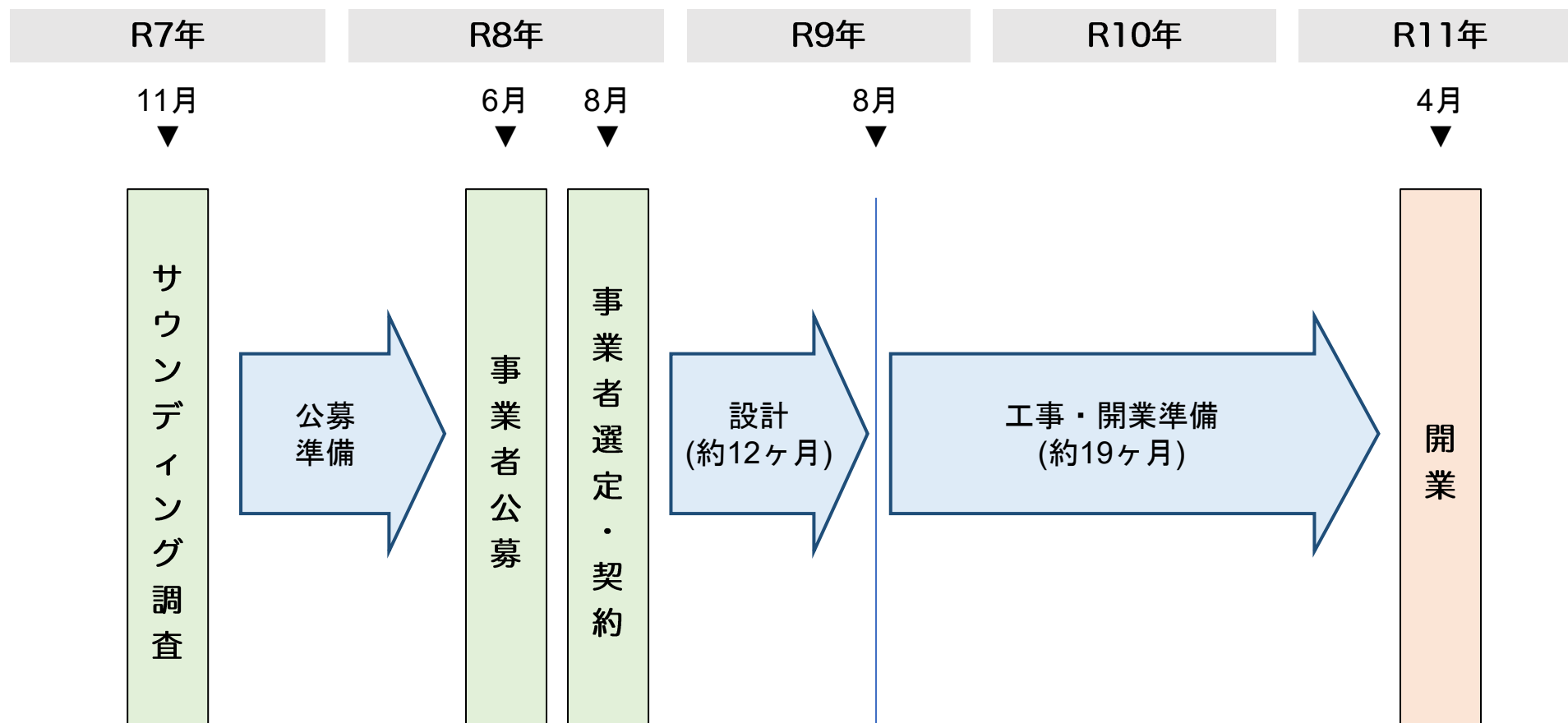
町の財政支出を抑えながら、利用者にとって魅力的な道の駅を整備・運営することを目的とし、民間事業者のノウハウを活用する「官民連携手法」を事業手法として検討しています。

また、道の駅は集客・商業のノウハウが必要となることから、設計・建設の段階で運営事業者の意向を反映しておくことが望ましく、運営事業者の意向を反映する官民連携手法としては、P F I方式、D B O方式、指定管理候補者事前選定方式が挙げられます。

サウンディング調査を踏まえて、事業目的を達成できる事業手法の導入可能性について調査・確認を行った上で、最適な手法を決定します。

類型	内容
P F I 方式	民間事業者が資金調達を行い、設計・建設・運営・維持管理といった事業全体において、民間の資金とノウハウを活用し、サービスの提供を民間主導で行うことで、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る事業方式
D B O 方式	町が資金調達を行い、設計・建設・運営を一括して発注することで、民間のノウハウを活用する事業方式
指定管理候補者事前選定方式	道の駅の運営候補事業者を事前に選定し、町が別途発注する設計や建設に対して、運営候補事業者の意向を反映する事業方式

■事業スケジュール案



想定スケジュールは上記の通りを予定しておりますが、あくまでも現時点での案になりますので変更となる可能性があります。